

グリーンアドバイザー認定 試験問題の一例

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会

〇×問題

問題	
1	植物は光合成を行っている。光合成に必要なものは、光と水と酸素と温度である。
2	バーナリゼーションとは、植物が一定期間高温にあうことによって開花誘導が起きるようになる現象をいう
3	ジャガイモは茎の一部が肥大したもので、根が肥大したものでない。
4	植物を増やす方法としての挿し木、取り木、株分けは栄養繁殖と呼ばれる。
5	薬剤でスミチオン乳剤、オルトラン水和剤、ベンレート水和剤は代表的な殺虫剤である。
6	リン酸肥料は特に花や実を付ける効果が高いので実肥えと呼ばれる。
7	パンジーは寒さに弱い春まき一年草である。
8	ダリアは塊根をもつ秋植え球根植物である。
9	摘心とは無駄な花芽を取り除く作業のことである。
10	連作障害は、トマトを栽培した翌年、同じ場所にナスを栽培すると現れやすい。

正解	
1	×
2	×
3	○
4	○
5	×
6	○
7	×
8	×
9	×
10	○

三択問題

問題	
11	プラント・ハーディネス・ゾーンは植物の適正地を判断する情報となる。その情報は次のうちどれか。 1. 耐寒性 2. 耐暑性 3. 耐乾性
12	茎の伸長を抑制する植物ホルモンは次のうちどれか。 1. ジベレリン 2. オーキシン 3. アブシジン酸
13	典型的な短日植物の組み合わせは次のうちどれか。 1. シクラメン・カーネーション 2. カランコエ・皇帝ダリア 3. ペチュニア・パンジー
14	植物分類の主な階級で右に行くほど小さくくりになる分類は次のうちどれか。 1. 目→科→属→種 2. 種→科→属→目 3. 目→科→種→属
15	鹿沼土は栃木県の鹿沼地方で取れる淡黄色粒状の土である。その特徴は次のうちどれか。 1. 酸性 2. 中性 3. アルカリ性
16	次の害虫のうち、全て「吸汁性害虫」の組み合わせはどれか。 1. グンバイムシ・ハモグリバエ・コガネムシ 2. ダンゴムシ・コオロギ・カイガラムシ 3. アブラムシ・コナジラミ・ハダニ
17	ツツジの花芽分化期は次のうちどれか。 1. 3～4月 2. 6～7月 3. 10～11月
18	一年草のハーブは次のうちどれか。 1. ラベンダー 2. レモングラス 3. バジル
19	コンテナ栽培での水やりで最も適していないものは次のうちどれか。 1. 定期的に1日おきを与える。 2. コンテナの土の表面が白く乾いてきたら与える。 3. 朝か夕方気温が高くない時に与える。
20	育苗箱で挿し木や種子から育てた苗を、小さな鉢に植え替える作業は次のうちどれか。 1. 鉢替え 2. 鉢上げ 3. 株分け

正解	
11	1
12	3
13	2
14	1
15	1
16	3
17	2
18	3
19	1
20	2

協会ではこれらの設問・解答に関する質問にはお答えできませんのでご了承ください。
許可無く複製・転載することを固く禁じます。